



市章

市役所案内看板の黒色

真庭市議会広報

第73号

令和5年[2023年]
8月1日発行

まにわ

総務、文教、産建、議運の紹介を
16ページに記載しています

議場演壇の看板



文教の色はピンク



総務の色は黄緑



産建の色は水色

定例会の色は朱色



議場のシャンデリア
真庭産の檜を使用しています

議会活性化推進特別委員会

議会活性化推進立案部会 10人

議会活性化検証部会 6人

議会ICT化推進部会 6人

議会活性化推進特別委員会と議会広報編集特別委員会は次号で紹介します

たくさんの委員会部会

議会広報編集
特別委員会



6月定例会

会期 6月12日～6月29日

6月議会の会議録は9月上旬、ホームページおよび議会事務局で閲覧できます

- 【主な内容】 | ●補正予算1件を可決 ●議案7件を可決
 今回の一般質問は16人 | ●陳情1件を趣旨採択 ●発議2件を可決

令和5年度6月補正予算

1億4,055万円を可決しました

	6月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	1億4,055万円	349億5,750万円	7.3%増
特別会計	0万円	125億7,545万円	0.6%減
公営企業会計	0万円	76億8,039万円	1.9%増

対前年比

補正後の全会計予算額

552億1,333万円 **24億3,032万円(4.6%)増**

令和5年度6月補正 会計別予算集計表

(単位:万円)

会計名	6月補正額	補正後予算額
一般会計	14,055	3,495,750
国民健康保険特別会計	0	501,489
後期高齢者医療特別会計	0	79,593
介護保険特別会計	0	650,881
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	0	5,294
浄化槽事業特別会計	0	4,878
津黒高原観光事業特別会計	0	2,894
クワイト菅谷事業特別会計	0	889
温泉事業特別会計	0	11,627
特別会計合計	0	1,257,545
水道事業会計	0	231,567
下水道事業会計	0	352,044
国民健康保険湯原温泉 病院事業会計	0	184,428
公営企業会計合計	0	768,039
合計	14,055	5,521,333

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じている箇所があります。



一般会計 主な歳出
 エネルギー価格等高騰の影響を受けている医療・介護・福祉事業者及び畜産農家を支援するとともに、地域dXを推進するサテライトオフィスの整備や自治会等を対象とした法務支援事業を増額しています。
 総務費では、一般社団法人自治総合センターから助成決定に伴うコミュニケーション活動支援事業に250万円を計上、民生費では、エネルギー価格等高騰の影響を受けている医療・介護・福祉事業所の事業継続を支援するために4,495万円を計上、農林水産業費では、乳用牛・肉用牛等を飼育する畜産農家に対し、経営の安定と継続を支援する飼料価格高騰緊急対策事業3,494万円を計上、商工費では、サテライトオフィスを整備・運営する事業者を支援するため4,580万円をそれぞれ計上しています。

サテライトオフィス整備事業に
4,580万円計上

消防設備の充実

救急車の購入



導入予定同様の高規格救急車 消防署本署

方は、岡山日産自動車株式会社です。近年の高規格救急自動車は、救急隊員が室内で立ち上がりつつも問題が無いよう高さが確保されています。

消防ポンプ車の購入

今回更新する消防ポンプ自動車は、平成10年度に整備したもので、施設整備更新計画に基づき更新するものです。購入台数は、消防ポンプ自動車1台で、配備先は、勝山方面隊第3分団第1部です。契約の方法は指名競争入札で契約金額は20,900千円、契約の相手方は、株岡山森田ポンプです。



更新予定の消防ポンプ車

主な議決内容

購入物品は、高規格救急自動車1台で、購入後は湯原分署に配備します。契約方法は指名競争入札で、契約金額は31,669千円。契約の相手



予防改修予定の川上小学校

川上小学校校舎棟 予防改修工事

川上小学校(昭和60年建築)が「真庭市学校施設マネジメント基本方針」に基づく長寿命化、「2050ゼロカーボンシティまにわ」の実現に向けた取り組みとして改修されます。現状では、屋根サビ・渡り廊下の雨漏り・外壁劣化・玄関スロープ未設置などの問題がありますが、改修後は屋上防水層の全面改良、照明のLED化、外部サッシ高断熱化などにより快適な学習環境の確保を行います。

農業委員の任命

農業委員会は農業委員で構成され、農地の権利移動の許可・不許可の決定などを担当しています。真庭市農業委員会は農業委員定数19人で構成され、任期は3年です。この度任期満了を迎え、6月議会で選任議案が提出され議会の同意を得て令和5年7月20日に市長より農業委員任命が行われました。(敬称略)

氏名	住所
松本 正幸	上中津井
沼本 通明	上水田
後藤 勤	宮地
岡田 耕平	西河内
山縣 将伸	鹿田
武村 一夫	栗原
妹尾 宗夫	下河内
太田 明	田原
柴田 博行	惣
矢谷 光生	五反
中山 克己	余野上
福島 康夫	山久世
吉岡 靖	月田本
池田 和道	延風
池田 実	釘貫小川
池本 彰	蒜山吉田
樋口 昌子	蒜山中福田
入澤 靖昭	蒜山下長田
石原 誉男	蒜山西茅部

陳情

揚水ポンプ電気料金 支援 「趣旨採択」

円豆・青影・高河原井手水利組合揚水ポンプ動力電気料金に関する要望書が提出されました。世界情勢などで電気料金の値上げで、組合員に使用料の値上げを課せばさらなる農地の荒廃を招く。電気料金の支援を求めるもの。審査の結果、趣旨採択となりました。

発議

森林環境譲与税の譲与基準見直し 「採択」

森林の多い市町村が、必要な森林整備をより一層推進できるよう、森林環境譲与税の譲与基準等を見直すよう国に対し意見書を提出するものです。本会議において審議され全会一致で採択されました。

総務常任委員会

本委員会は、3月13日、5月8日、5月25日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《総務部》

■真庭市人材育成基本方針の見直し、職員力向上事業

総務課から令和5年度の主要事業として真庭市人材育成基本方針の見直し、職員力向上事業について説明がありました。

真庭市人材育成基本方針の見直しについては、係制導入などの組織改革や、人口減少、少子高齢化などの外部環境等の変化により職員に求められる能力も年々変化、多様化する中、職員1人1人が組織改革や組織改善をできる人材となり、その能力を発揮できる環境づくりを実現するために、真庭市人材育成基本方針を見直す。

職員力向上事業については、昨今の行政職員には、現状を的確に分析し、多様化する市民ニーズを捉えた政策形成能力や、限られた行政経営資源等を効果的に活用する能力が求められてお



真庭市幹部職員向けハラメント研修（VR）

り、自ら考え行動するプロ意識の高い職員の育成を図り、常に成長する組織風土を醸成するため、研修を実施することとした。

問

人材育成、スキルアップも重要なことだが、職員の心身の健康管理等もしなければいけないと思うが、どのような取組をされるか。

答

職員が能力を発揮し、意欲を持ち続けられることが非常に重要であり、そこを支える仕組を人材育成基本方針の中で盛り込んでいきたい。また、仕事環境や職場の風土づくりをひとつの柱として取り組んでいきたい。

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 加藤 大悟 | 委員 | 小田 康文 |
| 副委員長 | 西田 文字 | 委員 | 庄司 史郎 |
| 委員 | 岩本 壯八 | 委員 | 長尾 修 |
| 委員 | 緒形 尚 | 委員 | 中尾 哲雄 |

《消防本部》

■令和4年中の火災救急救助の出勤状況

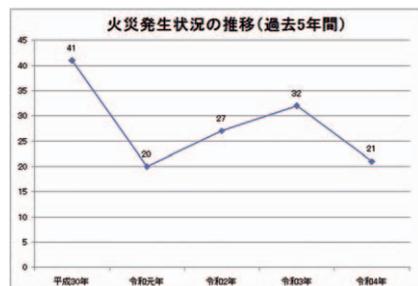
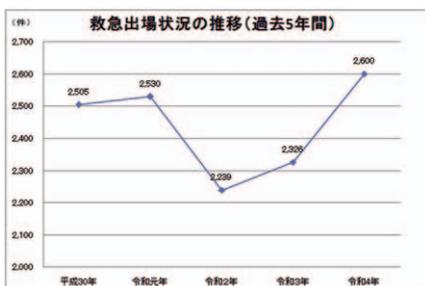
警防課から令和4年中の火災救急救助の出勤状況について説明がありました。

令和4年中における火災件数は21件で、種別では、建物火災が12件、雑草地、河川敷、休耕田等の火災を含むその他の火災が5件、車両火災が3件、林野火災が1件であった。

前年比で11件減少しており、建物火災が3件、その他火災と林野火災が、それぞれ5件減少した。

令和4年中の救急出場件数は、2,600件で昨年より274件増加し、過去最多で、急病が1,526件で最も多く、次いで転院搬送が437件、一般負傷が424件、交通事故が160件、自損行為、運動競技、労働災害などを含む、その他が53件であった。

令和4年中の救助隊の出場件数は、54件で前年と比較して、6件の増加。救助人員は、33名で前年と比較して、1名の増加、との報告がありました。



問

人口が減少していく中、救急出場状況を見ると件数が非常に増えている。このまま行くと、3,000件近く増えると思うが、今の体制、対応で今後対応出来るのか。消防本部は定数が変わらないがどうか。

答

現在真庭消防署では、救急車を6台を運用している。救急件数は増加傾向にあるが、現状の台数で対応していけると考えている。

文教厚生常任委員会

本委員会は、3月14日、5月10日、5月24日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《湯原温泉病院》

■経営強化プラン

湯原温泉病院から経営強化プランの策定について説明がありました。

国の持続可能な地域医療供給体制を確保するための公立病院経営強化ガイドラインに基づき、今年度経営強化プランの策定を予定しています。策定の背景として、公立病院は地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のための役割を果たしていく必要があります。経営強化プランに次の6項目を挙げています。

- ① 役割・機能の最適化と連携強化
 - ② 医師・看護師等の確保と働き方改革
 - ③ 経営形態の見直し
 - ④ 新興感染症の感染拡大等に備えた平時からの取り組み
 - ⑤ 施設・設備の最適化
 - ⑥ 経営の効率化等
- 令和6年2月頃を目途に最終案をま



湯原温泉病院 策定を強化経営プラン

とめ、令和6年3月に岡山県に提出し、策定を目指しているとのこと。

問

地域医療構想との整合性は当初からの検討が必要ではないか。

答

年に3〜4回会議があり、調整を図っていく。

《健康福祉部》

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 大月 説子 | 委員 | 黒川 愛 |
| 副委員長 | 氏平 篤正 | 委員 | 古南 源二 |
| 委員 | 浅野 和昭 | 委員 | 妹島 弘和 |
| 委員 | 伊賀 基之 | 委員 | 福島 一則 |

■真庭市看護師等育成奨学金制度

健康推進課から、真庭市看護師等育成奨学金制度の現状について報告がありました。

令和2年度に制度開始以降、奨学金利用者は合計4人で、今年度の申請は1人、問い合わせが1件あった。入学説明会に行き、制度の説明を行っているが、入学当初、また、看護師の3年間では具体的な就職先が決まらないことが多く、専攻科に入ってから就職先が決まってくるのが現状のようである。また、真庭圏域の看護師の年代別では50歳以上の割合が、県平均と比較して14%高く、44・5%で、10年後の人材不足が懸念される。市内高校で看護師資格が取得できる真庭高校の存在と市内就職を推進するため、現在の奨学金制度をより効果的な制度になるよう見直す必要



真庭高校 式宣を新たにするへの決意看護師

問

があり、今後、医師会、看護協会等と連携し検討を進めて行くとのこと。利用に向けて、課題を明らかにし、調査をすべきである。

答

様々な要素があり、医師会、看護協会等と協議を行う。どうすれば看護師を志してもらえるか、小中学校への働きかけも必要と考えている。医療機関や看護学校の魅力など、全体で取り組んでいくことが必要である。

産業建設常任委員会

委員長 柴田 正志 委員 妹尾 智之
副委員長 森脇 正和 委員 森田 敏久
委員 伊藤 義則 委員 吉原 啓介
委員 入澤 廣成

本委員会は、3月15日、5月8日、5月26日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《建設部》

■官民協働によるポケットパーク整備事業

都市住宅課から、ポケットパーク整備事業について説明がありました。整備事業は今年度1件500万円と仮定して、2箇所を想定している。

主な条件として

- ①設置予定場所から一定の範囲内に類似の公園・広場等が無いこと。
- ②管理運営は、自治会（地縁団体）を中心にした住民で行うこと。
- ③民有地・公有地で、無償で利用できること。
- ④地域のみならず、広く市民が利用できること。

の4点を基本条件として、具体的な内容は現在検討している。本年2月に勝山に公園をつくる会から、勝山での公園整備の要望をいただいている。今後、当会と協議を進めていき、モデルケ-

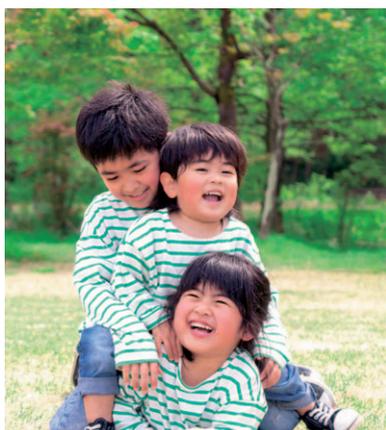
スが作れないか考えているとのことです。

問 ポケットパークの官民協働とは、どのような計画なのか。

答 細部はまだ検討中。地域や子育て等の団体などから要望・提案を募りたい。まだ全くの白紙の状態であり、地域と話をしながら適地ということになれば整備を進めていきたい。

問 子ども公園とか、防災公園とか色々な言い方があるが、ポケットパークの定義とは何か。

答 基本的には近隣にある、手軽な公園という位置付け。都市公園は0.25ha以上と大きいものが対象であるが、別の公園として位置付けたい。



みんなが使える「ご近所公園」

《産業観光部》

■真庭市の森林所有者の意識の変化と皆伐・再造林に係る課題と対応

林業・バイオマス産業課から、「真庭市の森林所有者の意識の変化と、皆伐再造林に係る課題と対応について」説明がありました。

真庭市の森林整備状況として再造林率が低く、近年では2割を切るなど森林機能保全の面からも最大の課題となっている。また、将来の木材の安定供給などにも大きな影響が危惧されている。

このため、森林への関心の低い森林所有者から山林を引取り、管理する担い手を整備する必要がある。真庭市と関係団体が協定を締結して、情報提供とマッチングを図る「山守プロジェクト」に取組み、持続的な森林林業の実現に向けた準備を現在進めている。

しかし、所有者と事業者とのマッチングが成立しない場合も想定され、最終的な受皿として、市有林化も検討していくことも必要かと考えている。また、主伐後、造林がされていない、いわゆ



スマート林業が困難な保育作業

る未栽地の対応として、適切な森林管理によりCO2吸収量をクレジットとして、国が認証するJ-クレジットを活用して、未栽地に植栽を進めるプロジェクトを、金融機関と連携して進めているとのこと。

問 直近30年は植林が進んでいないが、人材育成はどのようにするのか。

答 伐木は機械化が進んでいるが、下刈り等の保育作業では、スマート林業が困難なことなどから、保育作業する人が少ない状態。国・県とも連携して下刈りの回数や植栽密度を少なくして省力化できないか検討しながら、人材育成をしていく。

一般質問

6月定例会の議事録は
9月上旬から閲覧できます

一般質問の記事は、800字以内で質問した議員本人がまとめています

黒川 愛

問

相談支援事業所を増やして



真庭市の相談支援事業所は2か所。県内15市で最も少ない。全国的に相談支援利用者数と事業者数は年々増えている。市内の相談件数も過去3年で1.5倍。『足りない』という声は聞こえてこない』と市長も部長も言うが、当事者や施設の方から『困っている』と聞いている。声を聞く気がないのか、聞いても聞こえなかっただけ。障がいがある方が安心して必要なサービスを受けることができる地域づくりに向け、相談支援事業所を増やす必要

答 弁 者



三ツ宗宏教育長



太田昇市長

ある方が安心して必要なサービスを受けることができる地域づくりに向け、相談支援事業所を増やす必要

① 「真庭市の文化芸術振興計画」

問

相談員の育成も急務。3つ目の事業所検討の中でも、人材の獲得も含めて、具体的に考えていきたい。人件費補助の自治体もある。

答 樋口健康福祉部長

今の状態は改善する必要がある。障がい者の方々の福祉向上と一緒に努めていく。

答 太田市長

がある。相談支援は国の事業だが、採算が合いづらい問題がある。資格や研修、交通費の補助など、広い真庭市で何ができるか、何をすればいいか、具体的に考えて詰めて欲しい。県や国に、大変困っていると声を上げて欲しい。基幹センターが全国で増えている。ゆくゆくは真庭市でも基幹センターを。

答

太田市長

の課題は。②市民が文化にふれる機会を増やす取組を。調査ではコロナ前から下がっている。市内の文化は映画・映像だけではなく。③来秋開催の「森の芸術祭晴れの国・岡山」を契機に、林業や観光面でも積極的な展開を。④文化施設の充実を。観光調査で不人気になっている。

①②④「文化とは知恵の結晶」

だと思っている。文化の弱い地域は、魅力のない地域として捨てられる。人口減少、高齢化が現実にある生活文化も含め、広い意味の文化を高めていくことは必要。③市としても頑張つて主会場の一つにしていく。



郷原漆器生産振興会は来春解散予定
蒜山下徳山

真庭市議会議員会派の所属状況

会派は政策集団であり派閥ではありません
会派の並びは所属人数・五十音順です

森真会 しんしんかい

代表者 庄司史郎
大月説子
小田康文
森田敏久

真和会 しんわかい

代表者 入澤廣成
柴田正志
妹島弘和
長尾修

みんなの会 みんなのかい

代表者 中尾哲雄
伊藤義則
古南源二

緑真会 りょくしんかい

代表者 氏平篤正
西田文子
森脇正和

公明党真庭市議団 こうめいとうまにわしぎだん

代表者 岩本壯八
妹尾智之

あさひ

浅野和昭

明日の真庭を考える会 あすまにわかんがかい

緒形尚

クリスタルの会 かい

加藤大悟

翠山会 すいざんかい

吉原啓介

日本共産党 にほんきょうさんとう

伊賀基之

拓 ひらく

福島一則

みらい

黒川愛

氏平篤正

問

旧遷喬の解体保存か
保育園か公民館か



旧遷喬小学校は聖地と呼ばれていた、映画のロケが1番多かった。校舎の解体保存に10億とか20億の話があり、それを聞いた卒業生が「やめて、旧遷が皆に嫌われる」と。若いお父さんお母さん方から未来志向、「子供の将来を考えると下さい」と聞く。合併以來、駅トイレはしたが久世には手を付けてない。お金



旧遷喬尋常小学校 おばけ屋敷と校庭での大火が心配 鍋屋

を掛けて旧遷喬小の解体保存が必要か、公立保育園か、児童公園か、公民館か、体育館か、典武館か、生き活きサロンか、グラウンドゴルフ場か、意識調査し市に何を求めているか知る必要がある。

答

太田市長

決して市長の独りよがりではない。市に何を望んでいるか、意向を充分広く頂くよう指示している。

問

私、プーチン大統領ではありません

①保護者説明会は「私達は公務員の保育士を信頼して公立に行かせたい」と大荒れだった。私立と公立が切磋琢磨して市民が好きな方を選べるようにする。と市長は発表した。私立と公立の開園になぜ2年の差を設けるのか。なぜ行政が私立に誘導する策を取るのか疑問。私立は国から補助金が出る、公立は出ない。出ないという事は市長のやる気、市長がトップダウンすればすぐ出来るはず。なぜ同じ年の開園を

目指さないのか。

②市長は公立を建てないつもり、子どもの数が減って来る。それを理由に建てないと、町の中にある。政治家が口にした事はする！と私が言っても納得しない。

答

太田市長

①私立と公立を同時開園する事は無理。私、プーチン大統領でも何でもありません。場所を含めて皆さんの意向を聞きながら、慎重に検討する。②新しくすると答弁を明確にしており、きちんと造る。

伊藤義則

問

市有林の管理



ある山仕事に従事されている方から同僚議員へ「現在の市有林の状況を見てもらいたい」と連絡があり、私も同行させて貰った。その方は森林組合を退職後、鉄人と呼ばれる師匠の班で10年間働き、その後その班を引継ぎ80歳になった現在も「育林」を主とした山仕事をされている。山

の中に入ると下刈り、ヒモ打ち、枝打ちがされていないエリアがあったり、反対に間伐が出来ているエリアがあった。その方は市・山主さんから「育林」作業の依頼が減っていることを憂慮されいると同時に「植栽方法」、「雪おこし」等を熱く語られていた。真庭市の人工林の樹齡構成を見ると約72%が主伐期を迎えている。真庭市は令和元年度から令和3年度にかけ「森林環境譲与税」等を財源として「林道・作業道の補修」「路網整備の支援」「高性能林業機械導入支援」を行い「伐る」(一部「使う」)を実施している。令和5年度に「公有林整備事業」として植栽・下刈り・搬出間伐等の委託料として173,344千円予算化されている。市長に下記を問う。

①直近30年間進んでいなかった植える、育てるが継続するのか
②植える、育てる技術を持っている方が真庭市に何人位いるのか
③人材育成にどう取り組むのか
④森林クラウドを活用して森林データを把握し、あるべき市有林の仮想空間モデルに更新出来るか

答

太田市長

①経営に適した経済林とそうでない環境林にゾーニングして山を管理して行く。山林の流動化、施行地の集約化、コストを落とすなど総合的に行う。真庭市は山守プロジェクトを進めてきた。

②20人位

③今行っている支援事業に加えて、県・関係団体と従事者の確保支援を行う。

④現在、市有林の管理が出来ていない。森林資源のデータ収集をし、解析をし適切なゾーニングを行う。

NO FOREST
NO 真庭LIFE

真庭の「暮らし」に「森林」は必需です

西田 文子

問



真庭市の焼却灰

①目木の最終処分場が一杯になり、焼却灰の処分を三重リサイクルセンターへ委託して

いる。最終処分場の建設場所や、埋め立て後の活用はどうするか。

②三重リサイクルセンターには、焼却灰をもう一度1,300度以上の熱で無害化処理し、それを舗装の原料などリサイクルしている施設がある。循環事業を強く打ち出している真庭市は取り組まないのか。

③直営ではなく民間事業者に廃棄物処理をやってもらおう考えはないか。

答

太田市長

①廃棄物処理法では、自分たちのところから出る廃棄物は自分たちで処理することが原則。三重県の民間施設に処理してもらうほうが単価は安い。最終処分場は法令を遵守すれば、必要不可欠な施設で

焼却灰はここから三重リサイクルセンターへ運んでいる 櫻西



ある。15年程度の埋立量で、小規模なものを想定しているため、その土地を活用する必要もない。安定した地盤で、周辺住民の理解をいただける候補地を選定している。

②焼却灰を無害化する技術が安くてできれば選択肢の一つになる。現時点あるいは長期に考えても最善のものを選択すると、真庭市ではあてはまらない。

③三重県のような広域なものを住民合意も得ながらやるのは大変。そこまでして誘致する必要はない。

岩本 壯八

問



子どもの目の健康を守る

文部科学省は、児童生徒の近視実態調査結果を昨年6月に発表。目の角膜から網膜までの眼軸長を測定したところ、学年が上がるにつれ長くなり、裸眼視力も進級に伴い低下。パソコンやタブレット、スマホなどの利用で、手元にピントを合わせた状態が長く続く



社会の窓となる目を大切に！未来の自身のために

と眼球自体が変形し、網膜手前で焦点が合う軸性近視に。調査の結果、裸眼視力0・3%未満は男子小学校1年生1%、女子1・67%が、6年生は男子19・16%、女子22・99%と、2割を占める。中学校3年生では、男子25・52%、女子35・61%と増加。眼鏡やコンタクト装着率は、中学校3年生で男子4割、女子5割という驚きの結果が出ている。近視は軽度でも緑内障や網膜剥離など近視以外の病気がリスクを上昇させる。小児期に近視の発症と進行の予防が大切。目の健康予防への取り組みは。

答 三ツ教育長

真庭市では全国調査とほぼ同程度の結果。学校では、目の健康に関する学級活動や保健指導、ルール作り、家庭との連携を強めることに取り組んでいる。

問

学校事故の防止を

亡くなった子ども1,614人、障がいが残った子ども7,115人。独立行政法人日本スポーツ振興センターが公開している2005年度以降の学校事故のデータだ。文部科学省では、事故の情報公開や原因調査に対する学校及び設置者の対応指針を示している。学校現場では対応ができていないか、重大事故まで至らない事故予兆に対する原因調査・対策、学校間及び教育委員会との情報共有は。

答 三ツ教育長

各学校で毎年度確認・修正を行っている。併せて、事故を想定した訓練や研修を行っており、必要に応じて市内の学校にも情報提供し、再発防止に努めている。

加藤 大悟

問

大型扇風機を置くことも考える



屋内スポーツ施設の空調についてスポーツ振興のため多くの施設があるが、その中で屋内スポーツ施設において、体にかかる負荷を緩和するため、簡易な空調設備が必要であると考える。特に気温が上がる夏に配慮する必要がある。風が流れない日や時間帯では、体温は上昇し、熱中症を発生する危険が非常に高くなる。時に重症化する懸念もある。その対策として、簡易な空調機能を持たすため、大型扇風機などを配備すべきであると考え。市長、教育長の見解を問う。

答 太田市長

大型扇風機は、全ての公の屋内施設に整備しているわけではないが、整備しているところもあれば、換気扇とかエアコンなどを整備して、それを活用しているというところもある。

答 三ツ教育長

使用方の問題だが、窓や戸を開けて換気をするようなことで各施設の状況に応じて熱中症対策を行っている。熱中症対策はさらに環境省から警戒アラートの発表制度もあり、利用者に対しては活動の中止とか自粛とか、より軽易なものにするとか、そういう注意喚起などもしている。本当に必要な施設は、大型扇風機についても置くことも考える。



大型扇風機 勝山スポーツセンター

令和5年6月時点で市内の小・中学校の約8割に当たる小学校15校、中学校5校、こ

こで大型扇風機が動いているという状況である。学校によってはスポーツ少年団が学校開放で利用すると、そのために保有しているというものもある。また屋内運動場については、立地条件による室内温度の上昇、また大型扇風機の保管場所の確保など、学校ごとに事情もあるので、各学校と相談し必要に応じて導入を検討していく。

答 太田市長

の改築が市でできないか。

寮とかを全然否定する気はない。寮を造ってすぐに空いてしまい、問題になるというのも行政施策としてどうなのか、ただ、造って一人でも多くの生徒を入れてという考え方もある。やることは何でもやるというのが前提だが、公費を出す以上は、そういう議論は必要だ。

庄司 史郎

問

高校存続のために大胆な取り組みを



議会においても白梅寮の移転要望を採択し、県教委にも県にも送っている。25年の万博のCLTの後利用に真庭市は手を挙げている。そういうものを利用して寮をつくる。学校が閉鎖となったときは、市営住宅として転用していく考え方を持ちながら、白梅寮

問

意見交換会での市民の声への対応は

今まで通り公立の保育園に行きたいという保護者に対して、どう受け止め、どう対応するのか、保護者の選択を保障することが一番大事。スタート段階だから保護者の不安に対して公立に行きたい保護者は公立に来てくださという形で対応して行くのが、行政としての責任だと思

うがどうか。キャパがあるのだから、民間に行ってもらえばいいんだという考え方であるとの理解でいいか。

答 太田市長



老朽化した真庭高校白梅寮 落合垂水

私立を交えている中で希望を聞いて、どこに行っていたとか最終的に決めて行くやり方をどこもしている。真庭市だけ公立希望は絶対公立だと、全体としてキャパが余っているのに、そういうことにはならないと思う。キャパが余っているのに公立の希望を満たすために公立を造る行政をしているのか。そうではないということ、方針決定して、予算も通って進めている。どういう思いで言われているのか理解できない。全国的な状況を見たら、お分かりだと思う。

妹島 弘和

問

火災時の対応



令和5年3月18日18時13分「火災発生。真庭市久世早川町、久世駅前、西36m付近で火災が発生しています。」告知放送が流れた。
告知放送の最大の目的は、消防署、消防団に火災現場を知らせ、出動を命令するものである。しかし、同時に火災現場周辺の市民にも近くで火



真庭消防署 惣

災が発生していることを知らせる目的もあると考える。そこで、2点について、市長に見解を求める。

①今回の火災現場はお寺であった。告知放送ではお寺の名前は言えないものか。

②今回の火災は大惨事になりかねない条件が重なっていた。市民の生命と財産を守ることが最大の責務である真庭市として今回の火災をどのように受け止めているか。反省点、今後の教訓にすべき点はなかったか。

答

太田市長

①火災第一報では確実な情報とは判断できない場合が多く、今回は小字までということにならざるを得なかった。今後は建物の名称を含めて多くの方に分かりやすい内容にしていきたい。趣旨はよく分かるので検討していく。

②今回の火災は周辺に木造住宅が密集していること、そして強風であったことで、多くの教訓を得ることができた。火災防

この計画と今回取った具体的な活動を重ね合わせ、もう一度、検証をしていく。老朽化した密集地があるので都市型火災についても十分に対応できるように鋭意努力していく。それから行政職員の関わり方、権限のある所に集中して仕事をしてもらうことも大事。ただ、警察も含めて常時権限を持っている者同士がこういう場合には、こうするとうう打合わせ等をやり過ぎるといったことは無い。今後、全体としての教訓にしていく。

問

森脇 正和



まにこいんの今後の方向性

①5月の臨時会において真庭くらし応援クーポン券事業に合わせ2,500円分のポイントを全世帯に配布すると説明があった。そこでセキュリティの問題があると答弁があったがその後改善はされたか。性善説に立ったキャンペーンは恐ろしく、不公平な



QRコードを読み込めば「まにこいん」で支払い可能

政策だと思うが、市長の考えを伺う。

②6月14日に勝山、落合地区で65歳以上を対象にスマホ教室を開催。参加者に20まにこいんを付与。ユーザーを増やす取組としては良いが各会場20人20まにこいのキャンペーンではインパクトが小さい。他地区にも行くのか。

③今年度から固定資産税、軽自動車税のまにこいんでの支払いが可能になった。ポイントがつかないのは、法的に問題があるのか。ポイントは付かないが何か優遇措置ができるか。

答

太田市長

①今回のキャンペーン事業でのQRコードつきポイント配付は、1枚のシートにQRコードが5つ印刷され1つ500ポイント合計、2,500ポイントを取得できるもので1回読み込みが行われると使用できなくなる。1ユーザーが2,500ポイントを取得した後は、他のQRコードを読み取ってもポイントを取得できない。管理番号を付番していて誰がどのQRを使ったか追跡できる。今回のキャンペーンは、普及啓発、利用拡大を目的にしている。スマートフォンに慣れていない方への配慮が必要と思う。

②シルバー人材センター、MITと連携し使い方、インストールのサポートを行う教室を各地で開催する。振興局、郵便局でもサポートしていく。

③ポイント付与は、減免になる。減免についての考え方とその法律構成ということから考えて困難だ。

答

木村総合政策部長

③今後様々なキャンペーンを打っていくなかで、検討していく。

妹尾 智之

問

幼児教育・保育の現場の課題は



近年、子育て支援は充実してきていますが、一方で全国的に保育士不足がニュースになっており、保育士不足については、本市としても様々な対策を講じつつ、苦勞していることと思うが、保育士は相変わらず不足し、処遇改善も



園児の活動を見守る保育士 久世こども園

されていないとの悲痛な声を聞いている。

保育士の確保状況について、退職予定者数、各園の状況も考えて毎年新規採用していると思うが、本市の保育士採用の考え方について伺う。幼児教育・保育の無償化に関する実態調査を行った。自分も幾つかの園に伺い、様々な意見を聞いて、その中の一つに、保育士のスキルアップという要望もあった。特に若手保育士の指導育成の取組ができるような体制が必要だと考えますが、市長の所見を伺う。

答

太田市長

採用の考えですが、正規職員、任期付職員については、定員の適正化計画に基づいて退職者のことも考慮して採用している。任期付職員は、園児の入園申込み状況を踏まえて、年度途中においても必要に応じて募集を行っている。産休や育休等の職員の代替とか、あるいは加配、保育補助に対する職員として会計年度任用職員を採用し、職場環境を少しでも改善できるように、人材確保に努めていく。若手保育士の指導育成の取組体制

は、それぞれの特性があり、特性に沿った保育が必要だということ、専門的知識の習得によるスキルアップを大切に主にそういう事業を進めている。独自に外部講師を招いて保育士のスキルに合った様々な研修会を年間15回から20回程度実施している。園長や主任保育士からの日々の助言とかにおける午睡、昼から子どもの睡眠の時間を活用したミーティングとか、園内研修も行って、保育士のやる気と、スキルアップに努めていく。

問

森田 敏久



ふるさと納税返礼品と応援交付金

①新たな返礼品開発に援助する考えはないか
②話題性のある返礼品を考えるべきではないか。

例えば米で言えば全国的に銘柄米で勝負しているが、真庭市では、循環型の里海米で行っているのを認識しているか。また「まにこいん」を返



礼品にしてはどうか。

③各地域が地域課題解決手段として経済的自立をするため、ふるさと応援交付金は有効な手段と考えるが、完全に機能しているとは思えないが見解を伺う。

答

太田市長

①事業者向けセミナーやワークショップを開催し新たな商品開発を進めている。
②バイオマスツアー等ソフトのものも取り入れている。
③ふるさと応援交付金については地域づくり推進また自主財源の確保による地域の自立のため制度化している。

答

木村総合政策部長

②米で言えばふるさと納税の意義として、真庭を認知してもらおうというのも大きな目的である。「まにこいん」については「温泉宿泊券」等の返礼品で真庭に来ていただいた時に、促進を兼ねたりポイントを進呈するとか検討したい。

答

石井産業観光部長

②液肥を全国で初めて濃縮して循環型農業をやっていく段階にきている。ふるさと納税に限らず、全国にPRしブランド化して戦略を立ててやっていく。

問

地域問題協議会(仮称)の設置を

小学校区でも複数の住民会が存在するところがほとんどであり、小学校区に於いて身近な地域の課題に住民が自ら議論し、地域の意見を行政に伝える地域問題協議会(仮称)の設置が必要ではないか。

答

太田市長

地域づくり委員会がその役割を果たす制度になっている。



約500ある集会所のひとつ

柴田 正志

問

小規模自治会集会所の水道代

コロナ禍で集まりが自粛されたこの3年間、あまり使うことのなかった集会所であるが、その維持費は必要であり、高齢化率が50%を超えた自治会では、多くが年金の中から月に500円、1,000円と集められた自治会費から賄われ



ている。

真庭市では特別会計で水道事業が運営され、基本料金は2か月で3,036円、これは16立方メートルまでが基本料金で、全く水道を使わなくても同じ値段となっている。水道料金は各市町村の考え方が反映された基本料金や価格の設定がされている状況である。コロナ禍で国の方針に従い人が集うことを自粛し、自治会活動が減少し、使用することのなかった集会所の水道使用料に何らかの配慮があったよかったですのではないかと今後に向けて、特別な料金プランなど検討が必要ではないか。

答

太田市長

集会所が維持できなくなってくる地域では、ある意味では、集会所を統合せざるを得ない。真庭市では水道に一般会計から4億数千円繰り出している。これをさらに増やすことは市民全体からすると本筋ではない。集会所が約500あり、市の水道を使っているのは約6割。毎日使っていない集会所では色々な工夫をされているところもある。

答

頭山建設部長

コロナ禍の3年間、久世、勝山、落合の集会所318軒のうち213軒が水道を使用している。限りなくゼロに近いと思われる1トン未満しか使われていないところが25軒。そのうち11軒は休止状態となっている。休止にする料金は全くかからず、再度開栓となると1,000円の手数料をいただいている。ホームページで集会所の水道を使わない場合は、休止制度を利用していただく案内や、機会があれば広報紙にも掲載したい。

緒形 尚

問

電力を地域で生み出し地産地消に



温暖化対策に向けた世界的な脱炭素の動きを受け、国は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを令和2年10月に宣言した。

真庭市は国に先駆け、令和2年3月にゼロカーボンシ



マイクロ水力発電 月平均200Kwを売電 八束地区

ティまにわに向けた決意表明をした。令和4年度には脱炭素先行地域にも選定をされた。今後の取組について市長の見解を伺う。

①太陽光発電や木質バイオマス発電、水力発電が稼働しているが、その他に再生エネルギーである風力、地熱を使った発電について今後取り組んでいく予定はあるのか。
②岡山県が県内自治体に対して補助している「岡山県家庭の省、創、蓄エネ設備・EV導入支援事業」に県内半数以上の自治体を取り組んでいる。全国的に先進地である真庭市では取組をされていないようですが、その理由は何か。

答

太田市長

①脱炭素先行地域に選定されたことを踏まえ、あらゆる再

生可能エネルギーの導入の可能性を追求してきた。風力発電、地熱についても調査したが、風力発電も蒜山地域での小型風力発電の可能性はあるが、良い結果ではない。地熱発電は湯原温泉があるが、温度が低過ぎて無理である。真庭の電力を真庭の中で回していく。小水力とか太陽光も含めて、真庭で生産した電力を地域で生み出して地産地消で地域の新電力会社をつくるしていくという方向を目指していきたいと思っている。
②県の補助制度を積極的に活用して市民にも周知していく。いろんなインセンティブを持つ制度を使って、省エネを進めていく。また創エネも併せて進めていく。再生可能エネルギー100%の町になるように、目標は高いが目指していく。

吉原 啓介

問

トータルライフ支援
に向けた体制



①心の悩みを抱える人たちの
成年期以降の居場所づくり自
立支援等のサポート体制は予
定どおり充実しつつあるか。

サポートのための情報共有
や協業に向け、どのような体
系、体制が構築されているか
現状の課題と考える点、今
後の方向性等についてお聞か
せいただきたい。

②発達障がいだけではなく、
生活全般に悩みを抱える人た
ちのプライバシーを守りなが
ら情報交換等ができたり、悩
みを解決できる場所があるの
が望ましい。利用する市民、
対応する職員、双方からのハ
ブとなるような拠点整備がで
きないか。

答

太田市長

①令和3年度から共生社会推
進本部に重層的支援体制構築
部会を設置して、包括的な相
談体制、重層、重ね合った支
援体制をどうつくっていくの



本庁舎から独立した総合支援センター 他市の例

かという検討をしている。

昨年度は、福祉部門の業務
量調査を実施し、健康福祉部
門におけるBPR、共生dX
の方針を策定した。

今年度は、この方針に基づ
いて、モデル的に相談支援記
録の電子化、一元化、業務プ
ロセスの改革など年齢や障が
いの有無等の属性にとらわれ
ない包括的な相談支援体制を
つくるという方向に取組みを
進めている。

②物理的な問題で、この庁舎
内はプライバシーを守りなが
ら相談を受けるという施設が
不足している。

本当に暫定的だが、隣の
社会福祉会館の畳の部屋を
改造して、プライバシーを一
定守れるようにして相談が
できるような部屋を作ったが、
ほかを含めて本当にそういう
部屋がない。こういう地域
社会だからこそ、顔が分か
らないような形で相談できる
とかということも必要で、ど
こでどう整備するのかという
ことがあるが、そういう中で
相談業務がプライバシーを
守りながらできるようなこと
を意識して整備を進めよう
と思っている。

問

伊賀 基之



住宅リノベーション
への補助制度を

市の木材活用リノベシヨ
ン補助金制度は、木材活用が
主な目的で、一般的な住宅リ
ノベーションは対象としない。
エネルギー・物価高騰で中小
業者は苦心している。新築住
宅が減少し、また全国規模の
ハウスメーカーによるものも
多い。市内業者や職人さんは

経営の困難さからこの20年間
で3分の2に減っている。木
材使用にかかわらず、住宅リ
ノベーション一般にも補助制
度を作るべき。建具、板金、
畳工などと仕事が様々に広
がっていく。

答

太田市長

住宅着工件数の急激な落ち
込みに対し、例えばマンシヨ
ンであっても木造の今の住宅
であっても、それが真庭産材
の需要拡大になることから木
材活用リノベーション事業を
開始している。一方住宅は個
人資産形成であり、補助金を
入れたらいいというものでは
ない。

問

学校給食の無償化に
取り組むべき

2022年に生まれた赤
ちゃん約77万人で統計開始
以来初の80万人割れで、真庭
市は2005年度399人、20
22年度202人である。政府は
異次元の少子化対策を標榜し
ているが、真庭市もできる限
りの異次元の子育て支援が必
要である。若い世代に真庭市

なら安心して子育てができる
という見通しを持ってもらわ
なくてはならない。給食費は
小学校で年間約5万2千8百
円、中学校で約6万500円と
なり、義務教育の中で大きな
負担である。継続した支援と
して、給食費の無償化に取り
組むべきと考える。

答

三ツ教育長

検討しないということでは
ない。継続したものにならない
といけない。公費負担にな
るといことで社会全体で子
どもを育てるためにはそれは
当然であるという機運づくり
もしていかなければならない。
そうしたことも含めて議論し
ていきたい。



楽しい学校給食 市内小学校

浅野 和昭

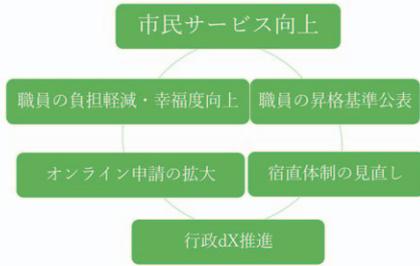
問



真庭市の組織体制

真庭市は、令和5年度より専門官、課長補佐、係長の3つの役職を増やしており、広報紙では真庭市の将来を見据え、新たに係長を中心とした係を単位とする統率力の高い組織に再編し、次世代の市政を担うリーダーを育成できる新しい組織体制とするため、係長制を導入すると説明している。トップマネジメントがビジョンを明確に提示し、係がそれを事務事業として実施していくには上位級から構成

真庭市職員の働き方改革に伴う市民サービスの向上



度のみでなく、昇任、必要があると考えている。従って人事評価制度のみに加えて、総合的な判断で人事管理を行う。従って人事評価制度のみでなく、昇任、

答 太田市長

職員の負担軽減、幸福度向上、職員の本意、意思、各部署の状況などを加味して、総合的な判断で人事管理を行う必要があると考えている。従って人事評価制度のみでなく、昇任、

問

昇格の明確な基準を設ける事は考えていない。

職員の宿直体制

真庭市の宿直体制では子育て世代の職員への配慮がなく、子どもがいる家庭では職員が宿直により家族に大きな負担がかかっているのではないかと心配している。

答 太田市長

宿日直業務は本当に大事な仕事だと思っている。

傍聴

傍聴席は市民席。

テレビ等に映ることがありますがご了承ください。

真庭市議会を傍聴しに是非お越しください。真庭市役所4階の議場入口で、住所氏名、年齢をご記入いただければ簡単に議場の傍聴席へお入り頂けます。議場うしろに30席用意しています。

令和4年度分の政務活動費を公表

政務活動費は、地方自治法に基づき「真庭市議会政務活動費交付条例」で定められた議員の調査研究、その他の活動に費やすため必要な経費として交付されます。月額3万円を年度当初に一括交付し、残余が

ある場合は返還することになっています。

真庭市議会では、1円以上のすべての領収書の提出を求めており、精算内容を議会ホームページに公開しています。



政務活動費のページ

政務活動費交付状況一覧(令和4年4月から令和5年3月分)(五十音順)

(円)

議員氏名	交付額	精算額	返還額
浅野 和昭	360,000	360,000	0
伊賀 基之	360,000	270,226	89,774
伊藤 義則	360,000	247,660	112,340
入澤 廣成	360,000	17,820	342,180
岩本 壯八	360,000	25,148	334,852
氏平 篤正	360,000	230,116	129,884
大月 説子	360,000	190,191	169,809
緒形 尚	360,000	360,000	0
小田 康文	360,000	100,489	259,511
加藤 大悟	360,000	17,820	342,180
河部 辰夫	360,000	70,470	289,530
黒川 愛	360,000	360,000	0

議員氏名	交付額	精算額	返還額
古南 源二	360,000	177,955	182,045
柴田 正志	360,000	290,828	69,172
庄司 史郎	360,000	322,886	37,114
妹島 弘和	360,000	325,433	34,567
妹尾 智之	360,000	133,534	226,466
長尾 修	360,000	17,820	342,180
中尾 哲雄	360,000	69,547	290,453
西田 文子	360,000	283,329	76,671
福島 一則	360,000	250,560	109,440
森田 敏久	360,000	340,610	19,390
森脇 正和	360,000	221,716	138,284
吉原 啓介	360,000	190,242	169,758
合計	8,640,000	4,874,400	3,765,600

委員会の紹介

総務常任委員会

市民の安全安心を守る政策と改革

総務常任委員会は消防や災害等に対応する市長直轄組織の危機管理課をはじめとして会計課・総務課・交流定住推進課など幅広い分野を所管しています。

また今年度いっばいで閉校する真庭高校久世校地跡地活用について総合政策課から説明を受け、どうすることが真庭市民にとって良いのか議論が始まっています。

市民の皆様役に役立つ議会改革などを進めるため8名の委員が心ひとつにしてがんばります。

(文・加藤)



左から、中尾、庄司、緒形、西田副委員長、加藤委員長、岩本、長尾、小田

産業建設常任委員会

農林業、観光を含む産業全体の振興、そして土木、建設、水道、住宅・公園などの地域の環境整備、さらに各振興局の地域振興が当委員会の所管となります。

住民の思いを反映し、公正なより良い真庭市となりますように議案審査、調査研究、政策提言と委員7人の叡智を結集したワンチームで、2年間の任期を全力で務めてまいりたいと思っています。

(文・柴田)



左から、森田、伊藤、入澤、柴田委員長、森脇副委員長、妹尾、吉原

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会が所管する部局は、生活環境部、健康福祉部、教育委員会、湯原温泉病院と広範囲です。また、生ごみ資源化事業や久世地域の園整備計画等、市民の皆様の生活に大きく影響する事業も動いています。

委員会のメンバーは、大月説子(委員長)・氏平篤正(副委員長)・浅野和昭・伊賀基之・黒川愛・古南源二・妹島弘和・福島一則の8名です。

様々な事業の成果は、真に市民の皆様の幸せにつながるものかという視点をもって、メンバーで丸となって様々な課題に取り組んでまいります。

(文・大月)



左から、浅野、福島、古南、大月委員長、氏平副委員長、黒川、伊賀、妹島

議会運営委員会

議会運営委員会は、3常任委員会から各2名(各委員長を含む。)を選出し、6人で構成されている常設の委員会です。

この委員会では、定例会や臨時会の運営をはじめ、予算・決算の審議方法、一般質問の運用、議会改革に関する事、議会の会議規則や条例に関する事、請願や陳情の取り扱い、議員の研修など、議会運営全般にわたる基本的な事項を取り扱っています。

円滑な議会運営と市民の皆さんから頼られる議会を目指して取り組んでまいります。

(文・岩本)



左から、柴田、大月、岩本委員長、伊藤副委員長、加藤、福島

GIKAI NO UGOKI

議の会 の 動き

5月 6月 7月

岡山県、中国、全国市議会議長会

5月24日、「第262回岡山県市議会議長会総会」(新見市)が開催され、小田議長、妹尾副議長が出席しました。

5月30日、「第152回中国市議会議長会総会」(岡山市)に小田議長、妹尾副議長が出席。6月14日、「第99回全国市議会議長会」(東京都)に小田議長が出席。

女性議員の会 真庭市で初開催

7月7日、第10回岡山県市議会議員女性の会が、真庭市で初めて開催されました。会場は真庭めぐりガーデンで、総会と研修を行い、環境課石田課長が「地域資源を活用した脱炭素に向けた取組」という演題で、生ごみを使った液肥と脱炭素の取組による防災力の向上と地域課題について講演をしました。現在、県内の15市すべてに女性議員が在籍し、48名の議員の内30名が参加しました。真庭市から3名が参加し、女性ならではの交流ができました。



女性議員の会総会の様子

産建が指定管理施設を視察

5月22日、産業建設常任委員会7名で市内指定管理施設のうち蒜山地域の7施設の視察を行いました。

最初に蒜山ハーブガーデンハービルを訪れ蒜山振興局より説明を受け施設内を視察しました。次に蒜山堆肥センターを訪れ蒜山農業公社より説明を受けました。その後、火事から再生したそばの館で昼食をとり、この春オープンしたシェアオフィス「蒜山ひととき」を訪れ産業政策課より説明を受けました。その後GREENable HIRUZEN、郷原漆器の館、蒜山快湯館を訪れ、それぞれの担当者より説明を受けました。



職員から説明を受ける委員 蒜山堆肥センター

文教が看護協会と意見交換

6月21日の夕方、落合総合センターで岡山県看護協会真庭支部と文教厚生常任委員会が意見交換会を行いました。「10年後、真庭市に看護師が居なくなる」の発言から今回この会が実現しました。

落合病院、金田病院、勝山病院、湯原温泉病院、介護老人施設

ゆうあい、真庭高校、近藤病院、向陽台病院の10人と文教8人が出席し全員が発言、真庭高校看護科にエールを送る場面もあり、何とかしなくては…という空気の中で委員会として決意を新たにしました。



活発な意見が出た、意見交換会の様子

議会活性化推進特別委員会を設置

議会活性化を進めるために議会活性化推進立案部会、議会ICT化推進部会、議会活性化検証部会の3部会を6月議会で設置を決定しました。詳細は次号でお知らせします。

真庭市議会から選出の各種委員一覧

法律若しくは政令又は他の条例のほか、地方自治法第138条の4第3項及び第202条の3第1項、地方公営企業法第14条の規定に基づき、市長、教育委員会及び公営企業管理者の附属機関として設置された各種委員会及び協議会に、真庭市議会から

議員を選出しています。選出の方法は、所管する常任委員会から選出しています。

選出された議員は、各委員会や協議会出席し、調査研究や審議又は建議を行います。

委員会・協議会名	氏名	所管委員会名	事務局(担当課)
真庭市消防委員会委員	緒形 尚	総務常任委員会	危機管理課
	庄司 史郎		
	西田 文子		
真庭市国民健康保険運営協議会委員	伊賀 基之	文教厚生常任委員会	市民課
	氏平 篤正		
	黒川 愛		
	妹島 弘和		
真庭市国民健康保険湯原温泉病院運営委員会委員	浅野 和昭	文教厚生常任委員会	湯原温泉病院
	古南 源二		
	福島 一則		
真庭市都市計画審議会委員	小田 康文	議長	都市住宅課
	入澤 廣成	産業建設常任委員会	
	妹尾 智之		
	森田 敏久		
	森脇 正和		
真庭市開発事業調整委員会委員	小田 康文	議長	都市住宅課
	伊藤 義則	産業建設常任委員会	
	柴田 正志		
	吉原 啓介		
真庭市景観審議会委員	長尾 修	総務常任委員会	都市住宅課
	入澤 廣成	産業建設常任委員会	
真庭市農業振興地域整備促進協議会委員	柴田 正志	産業建設常任委員会(委員長)	農業振興課
真庭市民生委員推薦会委員	大月 説子	文教厚生常任委員会(委員長)	福祉課
真庭市要保護児童対策地域協議会委員	黒川 愛	文教厚生常任委員会	子育て支援課
真庭市青少年問題協議会委員	小田 康文	議長	くらし安全課
	大月 説子	文教厚生常任委員会(委員長)	
真庭市人権教育推進委員会委員	大月 説子	文教厚生常任委員会(委員長)	生涯学習課
真庭市有線テレビ放送番組審議会委員	岩本 壯八	総務常任委員会	秘書広報課
真庭市表彰審査委員会委員	小田 康文	議長	総務課
真庭市交通安全対策協議会委員	小田 康文	議長	くらし安全課
	妹尾 智之	副議長	
真庭バイオマス産業杜市推進協議会委員	小田 康文	議長	林業・バイオマス産業課
	柴田 正志	産業建設常任委員会(委員長)	
真庭市土地対策審議会議員	小田 康文	議長	蒜山振興局
	入澤 廣成	地域選出	

MANIWA

SHIMIN
NO
HIROBA

市民 の 広場

ここは市民みんなで
つくるページです
楽しい気持ちでご参加
ください(敬称略)



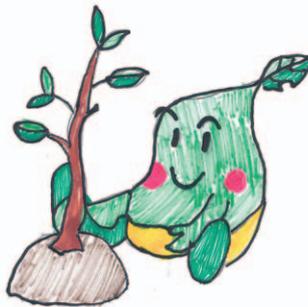
下蒜山から見下ろす雲居平 PN 蒜山縦走路



タンポポの綿毛とホオズキの炭 奥谷義隆



KAZUMI寝る 武京



まにぞう 森田隼介



父母ヶ浜にウマ KE

議 会
広 報



救急隊員は3人1チーム 消防本部

源流に
群れる水草
押し分けて
連なる泡は
生ける如くに

湯原にて
島 翔南



初孫麻琴 ひとみ

◀湯原を旅して
島 翔南

募集

絵画、イラスト、書、写真などを募集
しています。

住所、氏名、電話番号を書いてく
ださい。ペンネームを希望され
る場合も連絡先と氏名が書いてあ
ることが必要です。

応募先▶真庭市議会
宛先は20ページの帯欄に記載して
います

9月定例会は

9月5日(火)から9月26日(火)

- 9月5日(火) 本会議(開会・議案上程・提案説明)
- 8日(金) 本会議(一般質問)
- 11日(月) 本会議(一般質問)
- 12日(火) 本会議(一般質問・議案質疑)
- 13日(水) 本会議(一般質問・議案質疑)
- 14日(木) 常任委員会
- 15日(金) 決算審査特別委員会
- 19日(火) 決算審査特別委員会
- 20日(水) 決算審査特別委員会
- 21日(木) 予算審査特別委員会
- 26日(火) 本会議(委員長報告・採決・閉会)

■ 会議は通常午前9時30分に開会します。

■ 正式には8月28日(月)の議会運営委員会で決定します。

12月定例会の請願・陳情は

10月31日(火)まで

12月定例会の請願と陳情の受付は10月31日(火)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。

ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

真庭市議会HPをご覧ください



真庭市議会 HP



真庭市議会 FB

真庭市議会広報まにわ 第73号

令和5年8月1日発行 〒719-3292
発行 真庭市久世2927-12 真庭市議会

GIKAI QUIZ

問題 産建(産業建設常任委員会)は○人

正解者のの中から10人に「クッキーセット」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。締切：8月31日(木)消印有効。

前号の応募総数は60通で、正解者60人。ご応募ありがとうございました。



ちよっと一枚



朝顔のほほえみ 豊田京子さん

議会まにわ

「真庭市議会とは」

真庭市議会は議員23名と事務局6名で構成されています。議会として3月、6月、9月、12月に行われる定例会に参加し、一般質問、予算審査、決算審査などを行います。

各議員は3つある常任委員会のいずれかに所属して調査研究すると共に、特別委員会、部会、各種委員にも所属します。

・ 総務常任委員会は行政管理、行政機構、財務管理、公有財産、広聴広報、情報化、消防行政、危機管理、会計管理者の事務、監査事務局の事務、行政経営、交流定住・地域づくり、総合戦略及び長期ビジョン、庁舎建物等の整備、税務行政、債権管理、総合教育会議、SDGs、共生社会について。

・ 文教厚生常任委員会は教育行政、福祉行政、保健衛生、環境保全、市民窓口サービス、国民健康保険、介護保険事業、病院経営、公共交通、スポーツ・文化振興について。

・ 産業建設常任委員会は農林水産行政、商工業行政、観光行政、労働行政、農業委員会の事務、道路及び河川、住宅行政、都市計画事業、上水道事業、公共下水道事業について。

より良い暮らしのために議会を活用して下さい！
(文・浅野)

「MITを視聴ください」

真庭市議会定例会は、真庭いきいきテレビ「MIT」のサブチャンネル(122)で生中継しています。一般質問や各常任委員会付託案件審査は録画し後日放送しています。是非ご視聴ください。

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 浅野 和昭 |
| 副委員長 | 森脇 正和 |
| 委員 | 氏平 篤正 |
| 委員 | 加藤 大悟 |
| 委員 | 西田 文子 |
| 委員 | 森田 敏久 |
| 事務局 | 齋藤 香織 |

議会改革は更なるステージへ